

教室・講座・イベントの成果報告

主催者名	はまぎん こども宇宙科学館・洋光台サイエンスクラブ			
題名・副題	手作り顕微鏡でミクロの世界をのぞいてみよう（気孔編） ～気孔の働きと光合成～			
月日・時間	2018年11月10日（土） 10:00～12:00			
開催場所	はまぎん こども宇宙科学館・1階会議室			
部会・講師名	廃棄物部会・自然環境部会 石井 栄	参加者数	8名	
		講師数	7名	
写真				
	プレパラートとレンズの位置調整	ユキノシタの表皮を剥す		
				
	わ～、細胞が見えたよ	手作り顕微鏡写真「セダム気孔」		
成果解説	<p>この教室は、今年度2回目の手作り顕微鏡の教室、観察は気孔がテーマです。最初に光の直進、反射、屈折する性質について学んだ後、小さな物を拡大して見るためにはどんなものがあるか、クイズを交えて考え、ルーペ、水を満たしたペットボトル、ビー玉、水滴などを使って実験で確認しました。</p> <p>今回作る顕微鏡の凸レンズの像の結び方、単レンズ顕微鏡の焦点距離とレンズの間に物体をセットしたときの像の結び方に力点を置いて解説した後、顕微鏡に使用する球レンズを用いたレンズホルダーとプレパラートを自分の手で製作しました。</p> <p>観察した試料は、セダム、ムラサキゴテン、ユキノシタ、ツルニチニチソウ。子どもたちは、葉の裏側の表皮を薄くはがすのが少し難しかったが、全体的にはスムーズに気孔を観察できました。科学館から提供されたカマキリの幼虫観察に挑戦し、ハトの羽など動物についても観察しました。また、県の青少年センターから提供を受けた文科省発行の細胞ポスターを全員に配布しました。</p>			